

## 第3回近畿&中国ブロックYS意見交流会 次第

開催日時：令和2年8月7日 15時～17時 オンライン（ZOOM）

### 1.出席者

京都府青年部会長 岡本、岡山県青年部会副会長 的場、兵庫県青年部会副会長 武本、  
奈良県青年部副部長 寺井、島根県青年部副会長 石橋、広島県青年部副部長 石田  
鳥取県青年部事務局長 高岩、山口県青年部幹事長 内田  
オブザーバー：（一社）広島県産業資源循環協会青年部幹事 金島 計9名

### 2.挨拶と開催趣旨の説明 （武本）

全国事業やブロック事業での交流があるが、部会長の補佐を務める副会長や幹事長クラスでの情報共有の場を持つことで、部会長とともに協力して青年部の活動を活性化させていくことがこの会の目的。山口県の内田と兵庫県の武本が発起人となり、近畿ブロック、中国ブロック内で声をかけ、京都府、鳥取県、広島県と第1回は兵庫県、第2回は山口県で実施。今回は、京都での開催を予定していたが、コロナ禍の影響を踏まえオンライン開催。その結果、多くの府県に参加していただけた。ぜひ、皆さんの意見などを参考に、それぞれの青年部の活動に活かしていただければと思う。

### 3.以下の内容について意見交換

#### ①今後の活動について

##### 兵庫県

コロナの影響により、青年部活動及び協会事業のほとんどが、中止となっている。しかし、何もしないわけにもいかないので、活動の計画をしながらも、会議や研修などオンラインでできることを模索しながら進めている。

##### 山口県

安全面でのことを考え、子供たちを対象とした環境教育は中止。山口大学での環境教育については10月まで判断を伸ばしている状況。その他、SNSを活用した情報発信の方法を模索して検討している。毎年、広島県、岡山県と行っている合同交流会を10月に予定しているが実施するかどうかは9月に判断する。また、会員拡大のためにターゲットシートを作成。青年部に加入してもらえそうな人材がいる会員企業をピックアップし、アプローチしていく予定。名簿を作成し、今月末までに部会員に配布する。ポロシャツも作成。

##### 京都府

8月に親子バスツアーを計画していたがそれもコロナの影響を考慮し、安全面を最優先に中止とした。青年部内に交流会を計画していたが、今後の予定している事業に関しては、開催時期を後ろにずらせるものはずらし、できるだけ行っていきたいという意味はあるので、状況を見て判断していく。和歌山の処理場の見学も検討しているが、部会員の安全を最優先に考えながら判断していく。

定例会については、オンラインではなく対面で行っていく。必要な感染防止対策をしながら進めていく。

#### 鳥取県

定期的な活動はできないので ZOOM やビデオ通話を活用して、やり取りしている。今年度の活動はほぼできない。次年度に向け、役職、役割を移行していく中で、コミュニケーションやスキルなどの継承ができないまま役職の引継ぎができないことが懸念されるので、できるだけオンラインを活用して連絡を取り合い、災害時に備えて経験を積むことも踏まえ、一般青年部員ともコミュニケーションをとれるなどメリットもあるので、一般会員さんからポテンシャルを拾い上げるなど遊び心を持った活動にしていきたいと思う。

#### 岡山県

例年は 8 月にエコバスツアーを開催しているが今年度は中止。1 月に小学生対象にクリーン作戦をしているが、自粛する流れに。また、組織体制を見直して若い世代の部員が減ってきているので、会員名簿を見て、部会長副部会長を中心に勧誘をしていこうということに。委員会というのがなかったので、環境学習、視察、レクレーション委員会を作り、会員同士で交流できる機会を作ったり、環境学習の内容をブラッシュアップして再構築していく。

#### 島根県

役員も集まれていない状況。WEB を活用していくということは決まっている。

#### 広島県

例年は 6 月に県庁前広場でやっているイベントを中止。小学校への出前授業も中止。幹事会もまだできていない。

オンラインを活用して、講習や勉強会などの活動をできればいいなと思っている。

#### 奈良県

青年部員が今年度 2 名ほど増えたので、勉強会などを計画していたが、ZOOM を活用するか、コロナ対策をして対面で行うか、この状況下において打開策を見つけながら進めていく予定。(来週の火曜日に定例会があるのでそこで今後の活動についての話をする)

#### ②コロナ禍で感じたこと（青年部の役割など）

#### 兵庫県

今まで社会貢献活動をしてきていたが、災害時に備えて避難所等で使用できる物資を寄付していくことも検討。寄付するだけでなく、使用済みのものを処分するところまでパックにして、県にも相談し、提案できることはしていく予定。オンライン活用に関しては、研修会などオンラインで開催した際に、必要な備品は何か、参加費用徴収や告知方法などの仕組みづくりをどうするかを考えなければならない

## 山口県

ZOOM でやるという話も出ていたが、幹事会などは対面で行っていく方向。

活動自体は中止になっており、親会事業も中止になっているので、親会からも青年部中心でいろんな事業をしてくれという期待があり、その中で、書類作成や連絡したりという人材づくりの必要がある。コロナ禍の中での人材を育てることの大切さを感じた。

## 京都府

コロナで世の中の動きが激変するののかということ。コロナの影響で活動が中止、延期という中で、リスクに備えてという観点で今まで活動ができていなかったように思う。デジタル化の動きが進んでくる中で、どういうことができるのかを検討していくのが課題。現状、手探りでやっている中で、他府県での取り組みなどを参考にしていきたい。

## 鳥取県

デジタルを活用せざるを得ない、勉強していくしかないという中で、書類作成や会議などがやりやすくなるなどメリットも多いので、コミュニケーションがどこまでできるかというのがまだわからないが、離れていてもみんなのできる事など、できないことよりもできることを考えていく機会かなと思います。

## 岡山県

会うのかどうするのかを判断するのが難しい。現状はまだ ZOOM やってみる？という状態だったので、オンライン活用の話はすごく参考になった。自県に持ち帰って、参考にしたい。

## 島根県

会議が WEB になったので体が楽になったという声が多い。

## 広島県

コロナでここまで活動ができないのか。人に対面するのがありきの事業活動なのかと思った。

部会長の想いは青年部の部員を若い人たちで盛り上げていくことなので、コミュニケーションをオンライン活用してやっていけるのかなと。

## 奈良県

便利な部分もあるけど、総会などで会える人との話ができないことや、親会とのコミュニケーションをとろうにも、オンラインが苦手な人もいるので、コミュニケーションがとりづらい。仕事の面でも、画像では伝わりづらいので、仕事上でも若干の影響はあると思う。そういう部分で、いいツールがあればいいなと思う。

## 内田⇒全員に

現在、ZOOM を活用して幹事会など行っている青年部は？

現在、兵庫県のみ。対面とオンラインを併用している。それ以外の府県では、幹事会は対面か全くできていないという状況。

### ③今の課題と対策

#### 山口県

部会長が13年ぶりに変わった。新入会員の勧誘と中の人材育成ができていない状況。幹事長という役割を継承していくと考えると、なかなか現状は候補者を見つけるのが難しい。

#### 鳥取県

一緒にやるというのはいいと思う。このコロナ禍の中で、経験がない方と一緒にやっけていながら覚えていくというのがスタンダードになりつつある。部会員の勧誘も大事だが、部員はいても、役員ができる人がいなくなってしまうというのが課題になってくる。お手伝い制度というのは大事なのでは。

#### 内田⇒寺井

奈良県は2名増えたとのことでしたがどうやって増やした？

#### 寺井

奈良県は親会の会員企業で息子さんがまだ青年部に入っていないところがあるので、以前からアタックしていたところが入ってくれた。増えたのはいいが、役員をやっている人がとても長い。役職についてくれる人がなかなかいない。

#### 兵庫県

私も青年部に入ってすぐに幹事になって、今年で8年目。4年ぐらい統括幹事として新入部員が入った後のフォローや部会長補佐をほぼ一人でやってきたので、私の代わりとしてそれらをやってくれる人を育てるのが課題。

#### 岡山県

副部会長をやってくれないかという誘いを断り続けていた。サラリーマン部会員なので、役員業務は、なかなか難しいと思った。今回、部会長との交流する中でできる範囲でということで、引き受けた。若い人が入ってこない中で、年齢引き上げる？とか誰か紹介しないと抜けられないシステムにするなどの意見はあったが、拘束力のあるものでもないので現状は厳しい。

また、会社としてのモチベーションがないと、サラリーマン会員は時間もお金も使えないので難しい。せっかくこういう時期なので勧誘しようとなった。幹事が2人増えるが、先輩が抜けると、(幹事が)10名切ってしまうので、役員選出が難しくなってくる。委員会を立ち上げたので、部会長、副会長に負担が偏っていたので、部会長の負担を軽減すると、人材育成という部分でも事業ごとに委員会に役割を分散していきたい

京都府

45歳まで加入可能なので、的場さんがおっしゃられたみたいに新しい人を入れないとダメやというのが暗黙的にある。高齢化してきているので、もう少し若返りを図りたいとは思っている。来年5月の役員編成で、役員の入替えができればいいが、なかなか難しいかなというのが現状

広島県

新しい会員増強だったり、会員同士のコミュニケーションだったり地盤固めが優先的にやること。コミュニケーションは、オンラインとゴルフだけしか思いつかないので、他の方法があれば教えてほしい。

島根県

役員も一緒。新しい人も増えない。解決策も出ていないというのが現状。

武本⇒石田

石田さんはJCでも活動されているとのことですが、課題は同じ？

JCも会員は少なくなっている。そこには一番力を入れている。

具体的にどんなことを？

JC会自体の魅力を高めていく。

武本⇒高岩

石田さんのお話にもありましたが、魅力を高めていくということについてどう思いますか？

高岩

参加意欲は大事。県内の勧誘にも「なぜそこに参加しないといけない？」というのが会社にとって、個人にとってどうだというのがいるのかな。難しいですけど。

内田⇒組織づくりがなかなか大変だなという感じは受ける。

内田⇒武本

兵庫県の組織についてその後どうなりました？

武本

兵庫県は今年の6月の総会で青年部会が専門委員会に格上げされ、部会長は理事に選任されました。現在、青年部員4名が親会理事になっています。協会事業を青年部に中心でやっていくということで、会費徴収はなし。青年部の活動費は親会の予算から使えることにはなっていますが、広報事業や普及啓発事業の他に、青年部が中心となってこの業界や協会会員が抱える課題解決を目指して活動することとされているので、活動自体がすごく責任のあるものになりました。またコロナの影響もあり、今は手探り状態で進めていく中で、青年部がこれやろう！と思っても、親会の理事会で承認されなければ実行できないので、そこは今まで以上に書類づくりや調査などマーケティングをしっかりとし、理事会でプレゼンしていく必要があるので、協議を重ねながら取り組んでいる状況。また、兵庫県もサラリーマン部員が多いので、活動する上で負担などの配慮が必要だと思います。

武本⇒全員へ

青年部と親会の関係性について、兵庫県はお話したように青年部への期待が大きいですと感じますが、それぞれ青年部又は活動への理解や期待度はどうですか？

山口県

親会との関係性は青年部への期待もされている。兵庫県は、親会から否定されることはあり得る？

武本⇒否定ではなく、提案内容によっては承認されないことはあり得るでしょうね。なので、新たな事業を提案する際には、会員へのメリットや事業実施の効果などの提示、事務局との協議が必要になってくると思います。

広島県

部会長が親会とやりとりしていると思うので、関係性は良好。  
理事にも青年部出身者が多いので理解はある。

奈良県

親会会長も青年部の会長を長くやっていたし、理事も兼任されているので、関係性は良好です。

岡山県

親会との関係性は、良好。ただ、青年部出身者が親会に上がってしまうと思うと、青年部組織維持をどうするかを考えていく必要がある。

島根県

親会会長が青年部出身者で、関係性は良好。特に青年部への意見などもないと思う。

京都府

青年部会長を歴任したあとは親会理事になる流れがある。  
青年部の活動報告は2か月に1回親会に報告している。青年部会長が理事になったので、青年部への理解は深まったが、岡山県同様、青年部組織の維持をどうしていくかを考えていくことが必要。

高岩⇒全員へ

親会事務局長と事務局担当者と話し合う機会があって、意見を交換できてよかった。青年部からの提案に親会がどう反応するのかなども知ることができるのでいい機会だったと思う。そのような機会ってありますか？

京都府

月例会に事務局の方も参加してもらっているし、事務局と話すことが多いので情報交換はスムーズにで

きていると思う。

奈良県

事務局とは仲いいですね。京都みたいに青年部の会合への参加とかはないですけど、そういうのはうらやましいです。

岡山県

適時必要があればという感じで。必要な会合にも参加してくれるので、親会の状況などは聞ける状態

山口県

専務理事も事務局長とも仲いいので、いろんな話ができる状態です。

兵庫県

青年部担当と常に連絡は取りあってやっています。

内田⇒皆さん

SNS の活用方法についてどうですか？

兵庫県

Facebook ページと独自の HP を持っています。

ツイッターやインスタもアカウントを持っています。若い人向けに検索されそうなキーワードをハッシュタグつけて、発信するように開設しています。Facebook ページでは報告を簡単にする程度で、アメブロで、全国事業やブロック事業での詳細を掲載して、Facebook ページは、活動報告のほかに全国やブロックの投稿をシェアしたりしています。

内田⇒武本

ターゲット別に活用している？

武本⇒ターゲットというよりは、それぞれの特性に合わせて使い分けています。

山口県は今のところ、全く活用していないんですか？

内田⇒ターゲットを決めて発信していくことを検討しています。

武本⇒学生向けにはツイッターやインスタでの情報発信が効果的なのかなというのと Facebook ページでは、他府県の青年部会との交流も視野に入れて活用していきたいと思います。また、兵庫県で発信していることを全国の Facebook ページでシェアしてもらったりしてほしいなと思います。

奈良県

FB ページ持っていますが、活用はできてないです。担当は事務局か部会長が担当していると思う。

京都府

京都は SNS を全くやっていなくて、HP は親会のページを活用しているのですが、他府県の青年部の HP を調査して、内容を更新してアップしていく予定。

HP での情報発信は、青年部の活動で会員を増やすためと、一般向けに広報ツールとして進めていく予定

岡山県

SNS は活用できていない。皆さんの意見を聞いて検討していきたいと思う。

広島県

情報発信については SNS の活用はしていないと思う。情報発信どうするという話もあまり出ない

島根県

特に何もやってないです。

鳥取県

SNS はやっていない。検討したいと思います。

武本⇒全員へ

兵庫はパンフレットを作成したことがあります。会員の勧誘する時に使用するツールとかは？

京都府

パンフレットは途中で作業が止まっている。HP での情報発信を優先的に進めている。

他の府県は知り合いへの声掛け中心

れん楽網の活用について

兵庫県

事務局から青年部員への情報発信に活用している。

山口県

全く活用できてなかったの、今後活用していく

京都府

事務局からの連絡は、れん楽網と FAX を併用。ブロックからの連絡はれん楽網を使っている。

岡山県⇒ほとんど使えてない。

島根県⇒積極的に活用。使い方を講習してもらって活用している。

鳥取県⇒役員中心で活用している。今後積極的に使っていく。

広島県⇒使えてなかったの、今後積極的に活用していこうという流れに。



れん楽網について

武本

全国の青年部の情報が共有できるようになっているので、そこに情報をアップしていくことで、各都道府県やブロックの事業内容を見ることができるようになるので、活用していくということが全国青年部幹事会で決まった。県内だけでなく全国に発信していけるツールなので、今後活用して行ってほしい。

内田

各県の報告をアップして行ってほしい。

フォーマットについて

内田

全国からフォーマットが来ないかなと思っている。

近畿ブロックのフォーマットを活用する？⇒項目を抜粋する必要があるかも。円グラフとか難しい。

活動報告を作成する担当者は？

兵庫県⇒武本と事務局

山口県⇒内田

広島県⇒金島さんか協会事務局が作成すると思う。

島根県⇒吉田副会長が資料は作成してくれている

奈良県⇒事務局

岡山県⇒部会長か参加した部員が作成

鳥取⇒フォーマットがある分には、事務局か部会長か高岩

統一したフォーマットがあったほうがいい。

報告された書類がバラバラだと見にくいと思う。

まとめ（内田）

貴重な意見が色々聞けて良かったと思う。

4.次回の開催日時

第4回 YS 意見交流会令和2年 11月末 京都で忘年会かねて

（日程は調整、状況によってオンライン開催になるかも）

次回からは次第、内容などを各県に事前に配布する。

各県は報告内容をまとめておく。

今回から、近畿ブロック、中国ブロックの事業となりましたので、議事録をブロックに共有することになります。